

ひとり情シスのIです。

Windows10 移行の話に戻り、次はソフトの見積もりです。

これも PC ハードと一緒に何とか商会に頼む手もありますが、自分たちでやる場合は、価格コム等で安いところを一つ一つ調べる必要があります。ただ、最近はサブスクリプション化の流れもあり、Autodesk とか Adobe は何とか商会等を通して、そんなに安くならず、直接契約してもほぼほぼ同じ値段であることが多いです。

後は、マイクロソフトあたりは、アマゾンで購入すると正価より多少安くはなります。

手始めに、ほとんどすべての会社で使用している、マイクロソフト Office 製品の見積もりです。

Office は色々な種類があり、一見わかりにくいです。

結論からいうと、10 数名ぐらいまでの会社で Word と Excel と PowerPoint を使用するのであれば、「Office Home and Business 2016 永続版」が妥当な選択肢でしょう。

https://www.amazon.co.jp/Microsoft-Office-Business-%E3%82%AA%E3%83%B3%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%83%89%E7%89%88-Windows/dp/B015SMNX3A/ref=sr_1_6?ie=UTF8&qid=1551491588&sr=8-6&keywords=office&th=1

これを台数分購入（ただし同じ人が使うのであれば、1本で2台までインストール可）します。

「Office365 Business」という企業向けサブスクリプション形態もありますが、こちらはで月900円＋税なので、3年で元は取れることとなります。

人数が10名以上になると、インストールに必要なプロダクトキーの管理がだんだん面倒になってくるので、20名を超えたら素直に「Office365 Business」にしたほうがいいです。

Office を買うときに、2月に出たばかりの Office2019 が良いかと聞かれることもありますが、個人的な見解としては、すでに Office2016 を導入している部署があるのであれば、2016 に合わせたほうが良いと答えています。

理由としては、管理上複数のバージョンが混在するのは好ましくないこと、新しいのは品質が安定してないこと、あとは延長サポートの期限が同じ日付ということがあります。以下を見ると延長サポートの終了日は Office2016 と 2019 で同じ 2025 年 10 月 14 日となっています。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/lifecycle/search?alpha=Office%20Home%20and%20Business%202016,Office%20Home%20and%20Business%202019>

上記が意味するところは、おそらく次のバージョンではサブスクリプション形式のみにしようという腹積もりでしょう。

肝心の Amazon での見積もりの方法を説明するのを忘れていましたが、カートに入れてから「見積書のダウンロード」というところを押すといいです。

<https://www.amazon.co.jp/gp/help/customer/display.html?nodeId=202114920>

あと、Amazon で買う場合は、Amazon 自身が売っているほうを買ってください。たまに数千円ぐらいで同じパッケージが売っていますが、だまされないようにしてください。

続きはまた明日。(I)